

平成 25 年 1 級建築士学科試験 総評

はじめに、受験された皆様、本当にお疲れ様でした。
持っている力を存分に発揮することができたでしょうか。

1. 今年の試験は易しかったか、難しかったか

今年の試験の難易度は、計画と環境・設備は難易度が高く、法規、構造、施工は例年に比べてやや易しかったといえます。全体的には例年並みといえます。計画、環境・設備の科目基準点が合否を分ける方が多くなるかもしれません。

全体的に過去の出題の記述そのままではなく、内容的に一步踏み込んだ出題や、表現を変えた出題が多く見受けられました。

一方、新しいテーマが解答枝となっていて、過去問題から消去法で解ける問題も多くありましたので、過去問題についての正確な知識が得点に大きく影響したと思われます。

科目別に見ると、

■**計画**：例年に比べてやや難しかったと言えます。特に次の問題は、ほぼすべての選択枝が新しいテーマでした。

- ・No. 10 の東京計画 1960 等の都市計画に関する問題
- ・No. 16 のアフォーダンス等の人間の行動等に関する問題
- ・No. 20 のB I M等のマネジメントに関する問題

No. 20 のB I M（ビルディング・インフォメーション・モデリング）とB C P（事業継続計画）については、T A Cの公開模試で**ズバリ的中**（計画 No. 20 枝 1、環境・設備 No. 20 枝 3）でしたので、受験された方は有利であったと思われます。

■**環境・設備**：非常に難しい出題でした。昨年が易しかっただけにその反動かもしれません。建築設備士もしくは設備設計一級建築士のレベルの問題も散見されました。後述のように、新しいテーマが多いことに加えて、過去に出題された問題についても多くの受験生が迷う難しい問題を中心に構成している印象を受けます。

新しいテーマの多くは、やはり太陽光発電システム、高効率化評価指標E R R、Z E B（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）などの省エネに関する内容や、エレベーターの耐震設計等に関する内容となっています。

■**法規**：近年の中では、比較的易しい出題でした。建築基準法では、No. 17 の高さ制限の計算問題以外は、特に目立った難問はありませんでした。高さ制限において、塀及び玄関ポーチを考慮した出題は1級建築士では初めての出題となります。

関係法令は例年と同様に10問出題されました。長期優良住宅促進法、省エネ法、建設リサイクル法、都市低炭素化促進法は省エネの観点から、また、品確法、宅地建物取引業法、住宅瑕疵担保履行法は消費者保護の観点からの出題であり、近年、出題が定着してきたといえます。

- 構造**：近年の中では、比較的易しい出題でした。No. 6 の合成骨組はやや難易度が高いといえますが、文章問題では新しいテーマは例年ほど多くは見受けられず、過去問題をしっかり理解していれば得点できる問題が多かったといえます。
- 施工**：近年の中では、比較的易しい出題でした。新しいテーマの設問枝があったとしても、過去問題が解答枝となっているものが多く、得点はしやすかったと思われます。ただし、過去問題についても多くの受験生が迷う難しい問題を中心に構成している印象を受けます。

合格基準点は、各科目は過半の得点、総得点は概ね 90 点が原則とされています。しかし、平成 21 年からの新試験制度においては、科目基準点は補正されていないものの、総得点は毎年補正されており、最高で 97 点、最低で 87 点までの開きがあります。計画と環境・設備については、科目基準点の補正があるかもしれません。

2. 解答番号は？

試験機関からの正式な発表は 9 月 10 日の合格発表を待たなければなりません。TAC では解答速報を以下のとおり公開します。

- ・計画、環境・設備・・・試験当日（28 日）21：00 から
- ・全科目・・・・・・・・・・試験翌日（29 日）14：00 から

登録は不要です！

解答番号も個人情報も一切入力不要ですので、お気軽にご利用ください。

[一級建築士学科試験解答速報ページ](#) [→詳細はこちら](#)

3. 今年の試験は何が変わったか 何か変わったか

平成 21 年から「試験内容の見直し」が行われ、出題内容については、「建築設計の高度化・専門分化に留意した上で、建築設計全般に関する基本的な知識・能力等を確認するとともに、専門分化している建築設計を調整し、取りまとめていく基本的な知識・能力等についても確認できる試験内容とする。」と発表されました。

この建築設計の高度化・専門分化を受け、内容的には、次のような新規問題が数多く出題され、難易度の高い試験となりました。

主な新規問題のテーマ

今年の試験では、次のような新しいテーマの問題が出題されました。

- 計画**：コーホート要因法、旧大社駅舎、側桁階段、パリ及びワシントン D.C. の都市計画、東京計画 1960、ジオデシック・ドーム、輝く都市、工業都市、TOD、劇場の客席からのふ

角、エレベーターの利用対象人員と台数、丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、未来の森ミュージアム、リ्यूとぴあ、緩和ケア病室、アフォーダンス、プレグナントの法則、ソシオフォーガル、BIM、CSR、BCP

- 環境・設備：飽和絶対湿度、長波長放射率、建具まわりの漏気量、床面と天井面の自然対流熱伝達率、ボイド型超高層集合住宅の煙制御、吹抜けの防火シャッターの位置、空気の音響吸収、全熱交換器の高性能フィルターの設置方法、PI制御、軸流吹出し口とふく流吹出口の誘引比及び到達距離、4リットル以下の節水大便器、太陽光発電システムのパワーコンディショナ、エレベーターの耐震設計、ERR、ZEB
- 法規：塀及び玄関ポーチを考慮した高さ制限、都市低炭素化促進法
- 構造：剛性骨組の応力、木造の無筋コンクリート布基礎の補強、床下地材の挽板から構造用合板への変更、S造の圧縮力と曲げモーメントを同時に受ける部材の算定式、RC造の地震力計算用の固定荷重と積載荷重の和
- 施工：接触式ガラス製棒状温度計、鉄骨工事受入検査の書類検査と対物検査、RC造の横型ルーフトレンの取付け、木造のJ形瓦、PF管の配管

4. 製図試験対策

学科試験合格見込みの方は、さっそく設計製図対策をはじめましょう！

厳選された課題・カリキュラム！「一級建築士 設計製図本科生」（全8回）

公表された本試験課題に基づき、プランニングから製図完成まで、合格レベルの設計力を養成する設計製図対策コースです！

→ 2013年合格目標「一級建築士 設計製図本科生」の詳細はこちら

無料体験講義を開催！「設計製図プレ講義」＜参加無料・予約不要＞

今年度課題の特徴や攻略のポイント、製図用具の具体的な使い方等についてお伝えします。実際の講義の雰囲気を体感いただけます！

→ 2013年合格目標「一級建築士 設計製図プレ講義」の詳細はこちら

5. 来年の学科試験対策

① 構造力学と法規の克服

特に苦手とする方が多い「構造力学」と「法規」については、早い段階で基礎を理解しておくことが大切です。また、今年残念な結果だった方は、試験後、あまりブランクを設けずに学習を継続することが大切です。

② 最新の出題傾向に対応した学習

TACでは、最新の出題傾向に対応し、特に次の内容を充実させた教材を作成しています。イラストを豊富に用いながら試験の出題ポイントをわかりやすく講義していきます。

■計画：建築史、実例建築物は写真を豊富に掲載しています。

■環境・設備：省エネルギー

■法規：建築士法、関係法令の充実

■構造：耐震設計、技術の進歩・高度化

■施工：廃棄物の処理・改修工事

③ 法改正への対応

法令の改正等についての最新の情報にも注意が必要です。

例えば、省エネルギー法の改正により、「環境・設備」で頻繁に出題されている熱損失係数、 $C E C$ （エネルギー消費係数）が廃止され、それぞれ、外皮（がいは）平均熱貫流率、一次エネルギー消費量に指標が代わるため、その理解が不可欠となります。

また「法規」「構造」では「建築物の耐震改修の促進に関する法律」など、さらに「施工」ではプレキャスト鉄筋コンクリート工事、断熱工事、塗装工事などの規準が改定されています。

万全の対策で合格を実現する！「一級建築士 総合学科本科生」（全 60 回）

特に苦手とする方が多い「構造力学」と「法規」について年内に基礎を固め、年明けの「本講義」に合流するコースです。充実のカリキュラムで合格まで導きます！

→ 2014 年合格目標「一級建築士 総合学科本科生」の詳細はこちら

「一級建築士 奨学生選抜試験」＜受験無料＞

TAC は「奨学生選抜試験」を開催し、来年度の建築士試験合格を目指すみなさまをサポートします。受験者全員に「受講料 10%割引&入会金 ¥10,000 免除券」を進呈。さらに、成績上位者は対象コースの受講料が「最大 80%割引」になります。ぜひ受験ください！

→ 2014 年合格目標「一級建築士 奨学生選抜試験」の詳細はこちら

以 上